

[様式2 (汚染水処理対策委員会に報告し、一般公開となるものです)]

| 提案書 | |
|--|----------------|
| 技術分野 | ① |
| 提案件名 | 汚染水貯留タンク漏水防止対策 |
| 提案者 | 太陽工業株式会社 |
| <p>1. 技術等の概要 (特徴、仕様、性能、保有者など)</p> <p>既設ボルト締め型タンク (以下、既設タンク) の内部に施す漏水防止技術</p> <p>A 案</p> <p>より確実な品質管理が可能な工場等であらかじめ袋状に加工した遮水シートをタンク内面に設置する方法。設置時は遮水シートの形状を維持させるために鉄筋カゴ等に取り付けた状態で既設タンク内に設置する。遮水シートは既設タンク内寸よりやや大きめに作成し、設置面の凹凸に対する保護目的で保護マット等を取り付けておく。</p> <p>B 案</p> <p>既設タンク内面に液状遮水シートを吹き付け、遮水層を形成する。液状遮水シートは二液混合型でスプレーガンにて既設タンク内面に直接吹き付けることにより硬化して遮水膜を形成する。現場作業が必要。</p> <p>2. 備考 (以下の点など、可能な範囲で御記入いただけますようお願いいたします)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開発・実用化の状況 (国内外の現場や他産業での実績例、実用化見込み時期を含む) <p>A 案は既存技術であるが、その設置方法を工夫したもの。あらかじめ、工場にて既設タンク内面の大きさに工場加工して現場で設置する。</p> <p>B 案も既存技術であるが、現地施工となるため既設タンク内に足場等が必要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開発・実用化に向けた課題・留意点 <p>A 案は現地施工を踏まえたモックアップによる施工技術の確認、既設タンク内の障害物に対する養生や平坦化等の工夫が必要</p> <p>B 案は既存技術であるが、既設タンク内での作業であり安全管理 (線量管理含む) と吹付用機材が必要で特殊作業員の確保が課題。線量が高い場合、施工性や安全性に難がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その他 (特許等を保有している場合の参照情報等) <p>補足資料 NO. 6 は A・B 案を説明したもの。</p> | |

(備考) 技術提案募集の内容 (6分野)

- ① 汚染水貯蔵 (タンク等)
- ② 汚染水処理 (トリチウム処理等)
- ③ 港湾内の海水の浄化 (海水中の放射性物質の除去等)
- ④ 建屋内の汚染水管理 (建屋内止水、地盤改良等)
- ⑤ 地下水流入抑制の敷地管理 (遮水壁、フェーシング等)
- ⑥ 地下水等の挙動把握 (地下水に係るデータ収集の手法、水質の分析技術等)